

フェリシモ、Adobe Scene7 の採用により、 オンラインショッピングにおけるユーザー体験の向上と 業務効率化を実現

【2010年10月1日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル、以下アドビシステムズ）は本日、株式会社フェリシモ（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：矢崎 和彦、以下フェリシモ）が、インターネット販売における業務効率化を目的に、アドビシステムズ社のクロスメディア配信プラットフォーム、Adobe® Scene7® を導入したことを発表しました。

フェリシモは、自社企画商品を中心に、カタログやオンラインで顧客に販売するダイレクトマーケティングの会社です。男女のファッションから生活雑貨、美容関連など幅広い商品を扱っており、取扱点数は年間数万種類にも及びます。また、同社の特色として、顧客はシリーズを選べば、色やデザインはフェリシモに任せる「コレクション」というスタイルで毎月継続的に顧客に商品を提供しています。

フェリシモではカタログ販売のほか、オンライン販売も1995年から開始し、全体に占める売り上げも年々拡大していき、2010年にはオンラインからの受注率が全体の過半数を超えました。当初はオンライン販売のページは紙のカタログをオンライン用に置き換えたものでしたが、既存顧客のフィードバックをもとに、顧客に付加価値を提供するための検討を重ね、電子カタログを充実させていきました。フェリシモが発行するカタログは主要な基幹カタログでも10誌を超え、大小含めると年間50～60誌にのぼります。フェリシモではオンライン販売のためにこれらを電子化していましたが、制作にかかる時間が膨大になり、同社の課題となっていました。

紙カタログならではの見やすさやコンセプトの伝えやすさと、電子カタログならではのインタラクティブなユーザー体験を実現し、制作を効率化するため、フェリシモは Adobe Scene7 の e カタログ (eCatalog) を採用しました。Adobe Scene7 の e カタログは、カタログのテンプレートを選択し、紙カタログの PDF データをアップロードするだけで、インタラクティブな電子カタログへ変換することができます。

従来の制作フローでは2週間かかっていた電子カタログの制作が、e カタログの採用により3日間に短縮されました。また、制作時間の短縮により、テレビや新聞、Web によるクロスメディアでのプロモーション展開も以前と比べてスムーズに行えるようになりました。さらに同社では Scene7 上のデータを利用する iPad/iPhone 用アプリも開発し、iPad/iPhone のカタログから直接商品の購入ができるようになり、顧客の利便性を実現しています。

同社では Adobe Scene7 のダイナミックイメージング (Dynamic Imaging) も新たに採用し、運用を開始しています。これにより、商品画像を拡大する際にページの切り替えなしで表示で

きるほか、高解像度な画像によって商品の質感の表現が可能となり、顧客によりリッチなユーザー体験の提供が可能となりました。今後も機能の追加により、顧客にとって使いやすいサービスの拡充を目指しています。

本リリースの事例は、以下の URL からダウンロードして頂けます。
www.adobe.com/go/scene7_casef_jp

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。